

## 令和5年度（2023年度）第3回環境基本計画推進委員会 議事録

- 1 日 時 令和5年（2023年）12月22日（金）10時～11時45分
- 2 場 所 501会議室
- 3 出席者 山本 隆明、吉原 雅哉、榊原 弘之、近藤 高史、早川 権慈、毛利 まり子、南川 陸夫、寺島 賀子、武富 時満、田中 治幸、吉鶴 弥生、加古 博之、龍田 昭一、千頭 聡アドバイザー（委員13名、アドバイザー1名、敬称略）  
環境経済部次長兼生活環境課長、清掃センター課長、生活環境課ゼロカーボン戦略室長、生活環境課統括主任、生活環境課主任、生活環境課主事、清掃センター主事（事務局7名）
- 4 欠席者 牲川 順一、森岡 良枝（2名）
- 5 会議の公開 公開
- 6 傍聴者 0名
- 7 内容
  - (1) あいさつ  
山本委員長よりあいさつをした。
  - (2) 報告事項  
前回会議の議事録及び令和5年度年次報告書について、事務局より資料を用いて報告をおこなった。委員からの意見等はなし。
  - (3) 協議事項
    - ア 東海市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の進行管理について  
事務局より資料を用いて説明を行った。  
（委員）：プロジェクトチームの外部事業者はどのような事業者を想定しているか。  
→（事務局）：市内事業者、運輸事業者、エネルギー供給事業者から各1事業者を想定している。
    - イ 第3次環境基本計画について  
事務局より資料を用いて説明を行った。
  - (4) 現委員会の振り返り、次期計画に向けた意見について  
「現委員会の振り返り、次期計画に向けた意見」について、事務局より資料を用いて説明を行った。  
（千頭アドバイザー）：振り返りの参考資料として、成果指標の達成状況があるが、

現計画の期間内で行ってきた取り組み内容が分かる資料がないと、評価が難しいのではないか。資料作成において、今までの取り組みについて整理をしてあるか。

→（事務局）：詳細な資料は用意できていないので、部会ごとに事務局が口頭で説明し振り返りを実施していただく。今回の意見を次回会議に向けて整理するため、委員から様々な意見をいただきたいと考えている。

→（委員）：部会ごとの指標の分析は年次報告書の作成で行っているため、今回は、現計画の指標が適当かなどについて議論をするという認識でよいか。

→（事務局）：その認識で良い。

部会に分かれて議論し、その内容について、全体会で各部会長より概要を報告した。

#### ア 社会環境部会（寺島部会長）

##### ㍿ 現委員会の運営、議論の進め方に関する意見

議論の時間が短く議論が十分にできなかったという意見があった。また、委員の交代もあり、指標の理解が委員の中で広がらなかったという意見があった。

##### ㍿ 次期計画に向けた意見

環境教育について、西知多クリーンセンターの見学を行なってはどうか、市内の大学に在籍し環境について学習している学生の発表の場を設けてはどうか、企業に講座を開催してもらってはどうか、家族で参加しやすい内容があると良いのではないかと意見があった。

#### イ 生活環境部会（吉原部会長）

##### ㍿ 振り返り

らんらんバスについて、1日の運行本数が話題になるが、排気ガスを出しているため電気自動車を導入するなど、少しでも脱炭素に向けた取り組みを行なう必要がある。

→（事務局）：市は電気自動車の導入を推進しており、今年度にEVのらんらんバスを導入するとともに、昨年度にEVの公用車を4台導入している。今後も、公用車の更新はエネルギー効率に優れた次世代自動車を率先して導入する。

##### ㍿ 現委員会の運営、議論の進め方に関する意見

会議開始時間について、主に午前の開催となっているが、時間がタイトになるため午後の開催としてほしい。

会議資料について、紙で配布しているが、資料の説明でプロジェクターを使用するなどOA化をすすめてはどうか。

##### ㍿ 次期計画に向けた意見

らんらんバス利用者について、自動車利用者の乗り換えが期待されるところだが、自転車利用者や徒歩の人が乗り換えている場合もあると考えられるので、利用者を精査してみてはどうか。

ポイ捨てについて、指標が主観的なので客観的な内容にするとともに、増減の要因分析を行なってはどうか。また、ごみの発生を防ぐために公園のごみ箱を撤去しているが、逆にポイ捨て対策で設置してはどうか。

#### ウ 廃棄物・リサイクル部会（榊原部会長）

##### ア) 振り返り

清掃センターのごみの排出量を減少する活動が継続して行われていることは良い傾向であり、今後も資源ごみなどごみの分別方法やプラスチックの洗浄方法の周知及び啓発に力を入れる必要がある。

##### イ) 現委員会の運営、議論の進め方に関する意見

議論の時間が短いという意見があった。また、指標2の生活情報アプリの累計ダウンロード数について、目標が分かりにくいので指標として適切かどうか検討する必要がある。

##### ウ) 次期計画に向けた意見

資源化したごみの売却金額を公表できると、資源化することで得られる利益が見える化でき、良いPRになるためリサイクルに関心を持つ人が増えるのではないかと。

#### エ 千頭アドバイザー意見

今後、環境基本計画全体を評価して新しい計画を作成していく中で、成果指標1つだけで判断するのではなく、複数の関係する成果指標を関連付けて分析すると良いのではないかと。様々な会議が開催されており、多種多様なデータがあると思うので、事務局において必要なデータをまとめ、委員が十分な議論をできる資料を作成してほしい。

##### (6) その他

事務局より今後の推進委員会のスケジュールについて説明を行った。